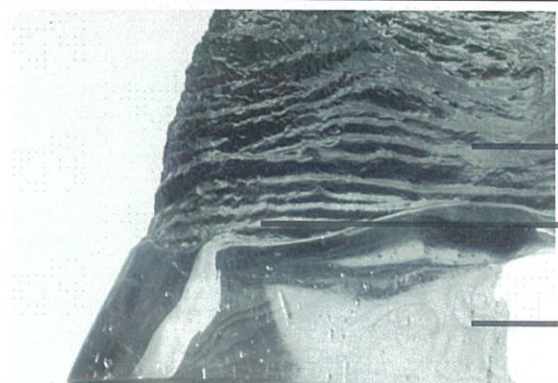


作品の設置方法を選んで、チェックをつけてください

台座置き 壁付

※台座置きの作品は台座のサイズも分かるように記入すること
 ※台座のサイズは幅400×奥行400×高さ100~1000mm

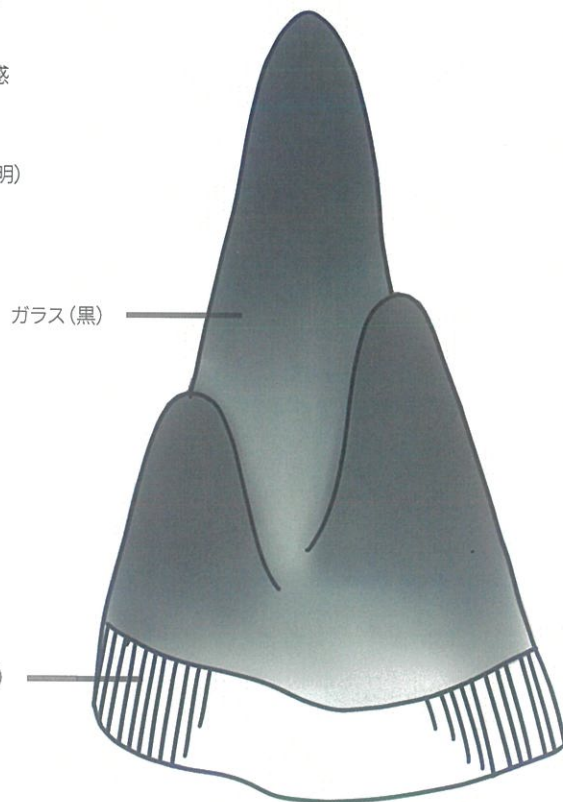
作品 および 設置イメージ・説明・制作方法



過去作品(参考)

作品のサイズ: W32cm D30cm H60cm
 台座のサイズ: W40cm D40cm H80cm

ガラス(黒)
 表面の質感
 ガラス(透明)



作品は冷えたガラスを電気炉に入れ加熱する事でガラスを成形するキルンワークという技法で制作します。キルンワークでは、原型のさまざまな処理によって豊かな変化を実現できます。そして安全対策のため、作品は安定な造形を採用し、また丁寧に加工を施し、造形にも鋭利な部分がないため、怪我をすることはありません。

作品本体は黒色不透明のガラスと無色の透明のガラスを使用します。上の黒色部分と下の透明の部分は二次铸造で一体にするので、接着剤などを使わず、作品の強度と耐久性を考慮しています。

作品名	さんすいの間	作品NO.	42
素材	ガラス	想定重量	45 kg
作品サイズ	横幅 320 × 高さ 600 × 奥行 300 (単位: mm)		

作品コンセプト

古代の人々は山の下に集まって、川のほとりに家を建て、一つ一つの集落が形成され、一人一人の家だけでなく、集団の家も形成されます。今、都市にいる私たちにとって、マンションはこのような大きな家だろうか。

この作品は「山水」をモチーフとし、ガラスの透明性と不透明性を用いて表現しています。山のような形をした造形はどこか懐かしさ感じさせ、落ち着きを与えます。ガラスの透明感は澄んだ川のように美しく、水を彫刻したかのように感じさせ、不透明さは山の木々が生い茂るイメージで優しくマットな質感となっている。ガラス素材であるからこそ、透明と不透明の美しい調和を生み出すことができます。光の当たり方によって、反射や屈折する光が美しく、毎回違う輝きを見せるのもガラスの魅力です。この作品が家紋のように、マンションのエントランスホールに入ってきた人たちに、帰ってきた安心感や安らぎを与えるようなシンボルになると思います。

【過去の自分の作品】 ※画像や写真等を配置もしくは貼り付けてください

